

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 皿倉 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和6年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

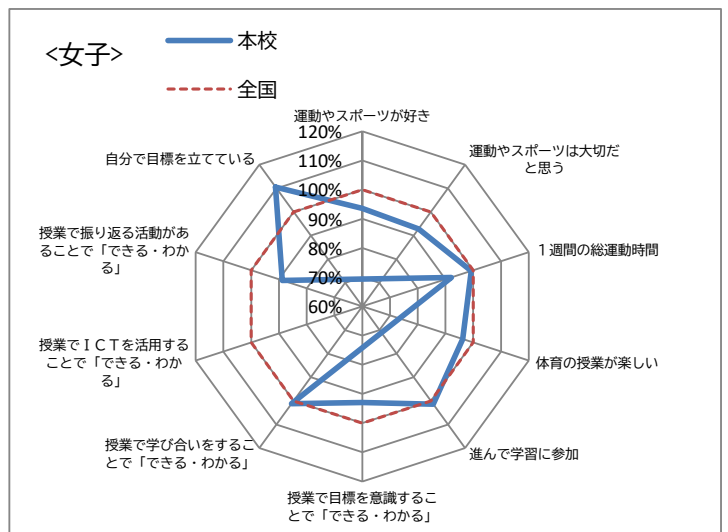
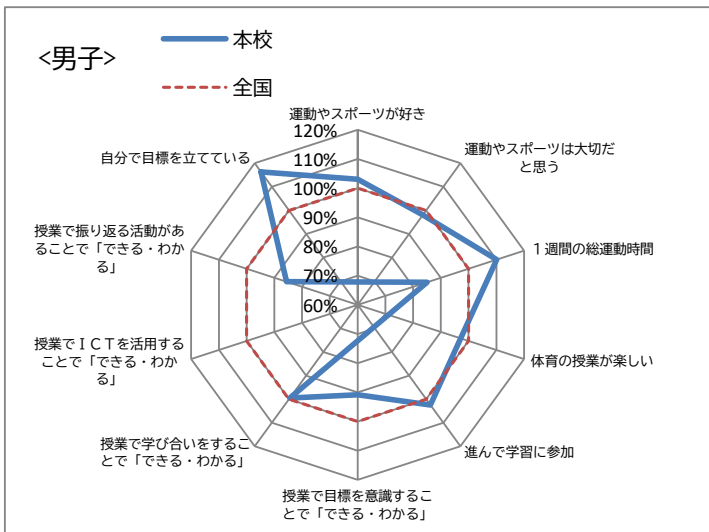
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
本市	15.98	19.39	34.42	40.27	49.36	9.54	150.13	21.81	53.10
本校全国平均以上の種目	○	○	○	○	○	○	○	○	○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92
本市	15.88	18.39	38.51	38.13	38.67	9.79	142.58	13.44	54.32
本校全国平均以上の種目				○	○		○		

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

男子の「学校の体育の授業時間以外でも運動やスポーツを行っている」、男女・女子の「体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている」の項目が、全国平均を大きく上回っていた。一方、男子・女子の「体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、『できたり、わかたり』することがある」の項目が、全国平均を大きく下回っていた。この結果から、ICTを有効利用し、達成感をもてる授業づくりを行っていく必要がある。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

運動量の確保、一単位時間の学習のめあての明確化、ICTの活用等を通して、体育科で育成を目指す「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の育成を図る。また、「自分で選択し、決定する」「友達と話し合っ、取り組む」活動を設定し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指す。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

学年・学級での運動に関する取組、持久走記録会、大縄集会など、時期に応じた取組を実施する。そうすることで、学習時間や休み時間に積極的に運動する習慣を身に付けさせ、体力や団結心の向上を図る。また、それらの取組に関して、通信等を通して保護者への啓発を図り、家庭での協力も得ることができるようになる。